



開港 150 周年ラベル「はまっ子どうし」を発売！

今から 120 年前の横浜水道創設の頃から水源水として供給されてきた、道志の森の清流水を詰め、売り上げから水源林ボランティアを支援している「はまっ子どうし」が、来る 6 月 2 日の開港記念日を契機に開港 150 周年のラベルに変わります。

横浜市では新ラベルの「はまっ子どうし」の発売を機に、開港 150 周年を大いに PR し、2009 年に向けてムードを盛り上げるとともに、「はまっ子どうし」のオフィシャルウォーター宣言を行うことにより、横浜のイメージアップやシティセールスに活用していきたいと考えています。

○ 開港 150 周年ラベル発売を契機に

開港 150 周年の PR とムードの盛り上げ

- ・ 様々な販路で、ラベルを通して横浜開港 150 周年をアピール
- ・ 開港祭などの今後様々なイベントを通して幅広く PR・販売
- ・ 市民から水道局への 6 月中のご注文、市内の配送料（200 円）無料キャンペーン

企業との連携を活かして

- ・ 清涼飲料水自動販売機への開港 150 周年ステッカーの貼り出し
- ・ 清涼飲料水自動販売機に新ラベルの「はまっ子どうし」を導入、開港 150 周年を PR



オフィシャルウォーター宣言

- ・ 「はまっ子どうし」を横浜市発のオリジナルブランド商品として育成
- ・ 市や区の会議や行事・イベントなどで積極的に活用
- ・ 「水のおいしい都市、環境行動都市：横浜」のシンボルとしてシティセールスなどに活用

水道局「はまっ子どし」開港 150 周年ラベル ボトル写真

